

宅魂



発行者 京都市立大宅小学校 校長 藤村 徹
〒607-8178 京都市山科区大宅五反畠町69の2
TEL(075)591-0015 URL: http://www.edu.city.kyoto.jp/ho/oyake-s/
FAX(075)591-0096 E-mail: oyake-s@edu.city.kyoto.jp

平成27年度 学校だより 平成27年11月20日発行
よく考える子 美顔であいさつする子 約束を守る子 体をきたえる子

～学校評価前期の報告～

教職員自己評価

A…よくできている B…おおむねできている
C…あまりできていない D…できていない

人権 「笑顔であいさつする子」

	A	B	C	D (%)
笑顔であいさつする取組はできていますか？	53%	47%	0%	0%
子どもが友達の良いところや、がんばりを認めようとする態度を育てていますか？	54%	43%	3%	0%
子どものよいところを見つけて、ほめていますか？	52%	45%	3%	0%

健康 「体をきたえる子」

	A	B	C	D (%)
体育の授業で、子どもの運動量の確保ができますか？	62%	38%	0%	0%
休み時間に外で遊ぶように働きかけていますか？	48%	48%	4%	0%
生活向上を目指した健康目標の取組はできますか？	62%	38%	0%	0%
食生活の向上を目指した取組はできますか？	50%	50%	0%	0%

生徒指導 「約束を守る子」

	A	B	C	D (%)
子どもが楽しくすごせる学級作りができますか？	43%	52%	5%	0%
チャイムと共に授業を始めていますか？	64%	32%	4%	0%

やわらかい言葉づかいができるように、子どもたちの会話に気を付け、言い直しをさせていますか？

研究 「よく考える子」

	A	B	C	D (%)
子どもが活躍する授業をしていますか？	43%	53%	4%	0%
図書室を活用し、本好きの子どもを育てていますか？	70%	25%	5%	0%

家庭学習が継続的にできるように、適切な課題(計算・漢字・音読など)を与えていますか？

～学校評価の考察～

- 質問内容の変更をした。「(早寝早起きをしている)→「早く起きている」、「早く寝ている」の二つに分けた、「家で読書をしている」→「本を読むのが好きだ」に変更、「体調不良で学校を休むことが多い」→「休まずに学校に行っている」に変更)
- 「ほめる」の項目で教職員自己評価と児童自己評価において良い結果が出た。教職員が意識して良いところを見つけほめることで児童の自尊感情も高まっている。
- 「朝ごはん」「集団登校」「ペル着」では、ほとんどの児童ができていると答えていた。
- 「あいさつ」の項目で81%の児童ができていると答えていた。教職員・児童会・PTAによる毎朝の両校門でのあいさつ運動や、地域の方の声かけや、毎日の見守り活動の成果であると考えられる。
- 「早く寝る」では60%の児童しかしていない。高学年になるほどできていない児童の割合が増える傾向にある。生活点検表(元気アップカード)を使って個別に指導していく。「早く起きる」では80%の児童ができる。
- 「やわらかな言葉づかい」の項目ではできていないと思っていた児童が30%いる。昨年度と比較しても改善が見られない。さん・くんづけを徹底する。呼び捨てがあつたら言い直しをするなどの取組の他、やわらかな言葉づかいがなぜ大切であるのかも繰り返し伝えていきたい。
- 学習については、わかりやすい授業・適切な宿題が進んで学習する子どもを育てるこになり、結果につながっている。
- 「読書」に関して、よい結果が出ている。選書会の開催や、図書室の本の充実、図書館運営支援員による読み聞かせ、読書タイム及び図書館の有効活用の取組の成果であると考える。山科図書館と連携した取組(アニマシオン、ブックトーク、等)も子どもたちの読書への意欲を高めている。ただ、保護者と児童の意識に差がある。
- 外で元気に遊ぶ子どもの数は増えている。休み時間のみんな遊びやパワーアップタイムの取組の成果であると考えられる。ドッジビーなど遊具を増やしたことの一つの要因である。
- ～学校運営協議会・学校評議員会より～
- 早く寝る子は、早く起きるという思い込みがあった。遅寝早起きが実態だった。
- 家庭学習が定着しているのはとてもよい。個別の働きかけが必要な児童もいる。
- 読書が好きだと答えた児童と保護者の数値に大きな違いがあった。家庭での読書習慣の定着が課題だ。
- 発達段階に応じた推薦図書を児童に提示するなどの取組を進める必要がある。読み聞かせの回数も増やす方がよい。
- 「規範意識」が高まっていることはよい。今までの取組の成果だ。

保護者による外部評価

A…そう思う B…だいたいそう思う
C…あまりそう思わない D…そう思わない

児童自己評価

A…そう思う B…だいたいそう思う
C…あまりそう思わない D…そう思わない

